

日本国際情報学会安全保障研究部会 第2回勉強会

2014/07/05-06

自衛隊広島地方協力本部にて開催

会長の近藤大博先生及び顧問の乾一字先生を囲んで、第2回の安全保障研究部会勉強会を開催いたしました。

7月5日(土)

13:00～13:30 自衛隊広島地方協力本部研修

佐々木部会長から自衛隊広島地方協力本部の概況について説明



13:30～13:35 近藤会長あいさつ

13:35～13:40 佐々木部会長あいさつ

13:40～14:40 乾顧問基調講演

演題：国際情勢の大変化－念仏平和主義への決別－



15:00～16:00 原口会員より発表

題目：中国について考える

－民主化の可能性と最近の対外強硬姿勢－

16:10～17:10 佐々木部会長より発表

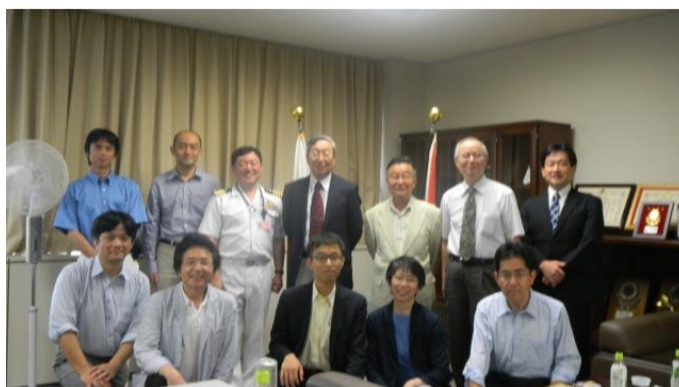
題目：ウクライナ危機とグルジア紛争の相違と類似性
ーロシアの対外政策の見地からー

17:10～17:15 近藤会長講評



18:00～20:00 懇親会

参加各人より最近の研究の状況を発表



7月6日(日)

10:00～12:00 海上自衛隊江田島基地研修（旧海軍兵学校研修）



旧海軍兵学校大講堂にて撮影



旧海軍兵学校庁舎にて撮影

所見：

研究会の冒頭に乾顧問より、現在の我が国における安全保障の問題点について鋭く指摘していただき、当安全保障研究部会を発足した意義と今後の安全保障分野の研究と啓蒙活動が如何に重要であるかを参加者は再認識することができた。また、原口会員におかれては、当日中国より帰国していただき、現在の中国が抱える内政上の問題点と対外的な強硬姿勢に潜む狙い等について発表していただいた。最後に佐々木部会長が、最近のウクライナ情勢をロシアの対外政策の見地から、なぜロシアはクリミアの併合にまで踏み切ったのか、2008年のグルジア紛争との相違は如何なるものなのかなどについて発表した。

いずれの発表についても近年の安全保障上の問題点を深く考察したものであり、参加者は質疑応答を通じて、非常に有意義なディスカッションを行うことができた。

研修においては、海上自衛隊の江田島基地（旧海軍兵学校）の見学を通じて、我が国が旧海軍より海上防衛に任じてきた歴史について深く認識することができた。

次回の実施場所及び実施時期は未定であるが、今回以上の研究会を企画する予定であるので多数の参加を要望致したい。